

令和8年度第1回山形市上下水道事業経営等懇話会

【 会 議 録 】

日 時 : 令和8年7月22日(水)午後2時00分～

場 所 : 山形市上下水道施設管理センター3階 研修室

出席者 : 國方敬司委員、田牧大祐委員、永井悟委員、松田直樹委員、石岡蘭子委員
鹿野淳一委員、鹿野六月委員、斎藤一美委員、山口範夫委員、石井圭子委員
鈴木淳子委員、高橋梢委員、星野みち子委員

上下水道事業管理者

事務局 : 上下水道部長、経営企画課長、業務課長、水道管路維持課長、水道建設課長
下水道建設課長、浄水政策課長、水運用センター所長、浄化センター所長
改革推進室長、水質管理室長、雨水施設建設室長
経営企画課職員

傍聴者 : 1名

<内容>

1 開 会

2 委嘱状交付

上下水道事業管理者から変更のあった委員へ委嘱状が交付された。

3 上下水道事業管理者あいさつ

委員2名が変わりましたので、簡単にこれまでの経過と上下水道部の現状についてお話しします。令和6年度からこの懇話会を再開しまして今年度で3回目となります。最近の水道事業を取り巻く状況として令和7年度決算につきましては純利益を計上しておりますが、人口減少が進んでおり、料金収入も減少傾向になっております。一方で、施設や管路の老朽化が進んでおり、それに係る費用もかかってくるので、今後も厳しい経営状況が続いていきます。特に水道事業は独立採算制が強く求められているので、料金改定も検討しなければいけない時期に差し掛かっております。

今日は市民への上下水道事業についてのWEBアンケート結果についてご報告させていただきますが、求められているのは安全な水を安定して、災害時を含めて供給することです。

山形市の料金は全国の都市部と比較すると高いですが、そもそも山形県内の事業体は全国と比較すると高いです。山間部が多く管路が長くなってしまうことや、地形の起伏を克服するためポンプで圧送しなければならないこと、人口密度が低く効率が悪いということが背景にあります。なお、山形市は県内では水道料金が2番目に安価となっています。

災害対策については、今年、青森県や岩手県で地震がありましたが、八戸の水道企業団では大きい管路の断水はなかったそうです。要因としては管路の耐震化が全国と比較して進んでいることが

ありました。基幹管路の耐震適合率は73.5%で全国平均の44.6%を大きく上回るものでした。山形市は令和6年度末で69.2%となり八戸に迫る数字となっています。地震に関しては比較的安心できる水準まで設備投資をしてきたという自負を持っております。

ですので、山形市の水道料金は安心込みの代金と考えていただきたいと思います。ただ、管路や設備の老朽化が進んでおりまして、施設に関しては耐震化が進んでいない部分がありますので、今後改善をしてまいります。

また、物価高騰対策の一環として、国の交付金を活用して7～10月の3か月基本料金の減額を行っています。ですので、これは水道料金（事業財源）を使わずに実施しているものです。短期的な政策ですので、やはり基本的には水道料金で事業運営を行っていく必要性があります。

水道施設は地域の資産ですので、それをどう維持していくかということで広報広聴活動もさらに進めていきますし、委員の皆様からご意見を頂戴できればと思います。本日はどうぞよろしくお願い致します。

4 意見交換

(1) 新たな取り組みについて

(2) 令和7年度上下水道事業 WEB アンケート調査結果について

(3) 水道料金の使い方

【座長】

それでは、意見交換に入ります。委員の皆様からのご意見・ご質問等については、事務局からの説明が全て終わりましたら、まとめてお受けする時間を取らせていただきます。

では、「(1) 新たな取り組みについて」「(2) 令和7年度上下水道事業 WEB アンケート調査結果について」および「(3) 水道料金の使い方」について、一括して事務局から説明をお願いいたします。

(1) (2) (3) については資料に基づき事務局から説明。

【座長】

説明ありがとうございました。せっかくですので、ご出席のみなさま全員からご意見やご質問を賜りたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

印象としてはいろんな取り組みをしっかりとされているというものです。ガス等のインフラ業界共通の悩みだと思いますが、古い管を更新しなければいけない、耐震化をしていかななくてはならない、そのためには道路を掘り返す必要がある等の手間がかかるし、維持するコストが年々上昇してきている状況です。なので、値上げというのは避けられないと思います。

水道を高いと感じている方はテレビや新聞の情報からそのように感じておられると思います。やはり、メディアを通して山形市上下水道部の取り組みを発信して、納得感を得られるようにしていくべきではないかと思っています。

【委員】

質問がいくつかあります。通報フォームを入力すると、管理センターではどのように対応しているのでしょうか。また、24時間対応でしょうか。デジタルが苦手な方を置き去りにしないようにもしていただきたいです。

WEB アンケートでの水道料金を高く感じるかという設問は全国の料金表等をつけて行ったものなのか、それとも感覚的なものなののでしょうか。

山形市の耐震化率は八戸市に迫るくらいのものだと聞きましたが、全国でどれくらいのものなのかを示した方がよいと感じました。

料金の支払い方を2か月払いを1か月ごとの支払いにすると、検針コスト等がかかり増ししないものなのでしょうか。

AI や衛星の漏水調査については、宮城が主軸になって共同で発注しているようだが、山形市はどうなっているのでしょうか。

【事務局】

まず、通報フォームですが、24時間受付ではありますが、対応は勤務時間内となります。理由としては、緊急性がそこまでないものを対象にしておりますので、そのような運用にしております。また、アンケートの仕方や、電話でしか通報できない方も置き去りにしないという点についてはご意見として活かしていきたいと思います。

アンケートには料金表は付けておらず、印象のみ聞き取りしています。他都市との単純な比較順位だけ示すと、単に「高い」という受け止め方しかされない懸念があります。

【委員】

耐震化の取り組みなどの必要な手立てをしているんだということを示した方が、アンケートも有意義になると思います。

【事務局】

管路の耐震化率の全国的な順位も示した方がイメージが伝わりやすいので、ご意見を活かしてまいります。

【事務局】

宮城県が中心となってAI、人工衛星による漏水調査の共同発注をやっているとして、県内の他事業体も参加しているようです。去年の説明会に出席し内容を確認しましたが、山形市が求めている成果が得られない可能性があり、参加を見送っております。また、スケジュールとしても調査結果が10月に分かるということで、降雪前まで修繕工事を完了できなくなる恐れがありました。今の山形市の人工衛星による漏水調査では8月下旬には成果品をもらっていて、降雪前までに修繕工事に取り組めるものとなっています。

【委員】

今話を聞くと山形市の方がはるかに素晴らしい対応だということが分かりました。スケールメリットを活かして他の市町村にも声がけしないのでしょうか。

【事務局】

連携中枢都市圏での検討をしようとしており、共同発注できるものがあれば進めていきたいと思っています。

補足ですが、通報フォームについては、従来の電話による通報方法でも受け付けておりますし、緊急性がある場合には電話も併用しております。

【委員】

出前講座について、私の団体でも6月に学習会があり、そこで水道出前講座を検討しましたが、参加者が山形市の人だけではないよねということで見送りになりました。

今回で懇話会も3回目になりますが、この場での内容を広めたいなという思いもありますので、山形市民でなくても、聞くメリットのある講座があるといいなと思っております。

【事務局】

出前講座では応急給水用の給水車を実際に持って行って実演もします。確かに拠点給水所になってしまうと山形市民にしか関連がないですが、給水車の体験は全国共通ですし、いざ災害になって初めて給水所へ行くというよりは、実際に容器を持ったり、給水したりするだけでも全然違うものになると思いますのでぜひご検討ください。

【委員】

耐震化が進んでいるところとそうでないところは、災害の際に歴然と差が出ます。特に熊本の地震では駅の東と西で被害の状況が全く違いました。山形市の基幹管路の耐震化率は69.2%ですが、やはりこれからあまり手を付けていない、導水管、送水管の入れ替えが問題になると感じています。

業界側としても若手技術者の人材不足が深刻で、早期に耐震化を進めないと、担い手がもういないということも考えられる状況です。何とか若手が入ってくる状況をつくらないと大変なことになると感じています。

水道料金については、山形市が高いとあまりにも言われ過ぎていると思います。県内で言えばもちろん安いわけで、そういった面もPRした方がいいと思います。節水効果が大きい器具の普及もありますし、水道使用量が減っていき料金値上げは避けられないと思います。

【事務局】

導水管の更新について重要だというご意見をいただいたが、見崎浄水場の廃止に伴って、松原浄水場の耐震化を優先すべきだと認識してしまして、蔵王ダムから松原浄水場までの導水管の更新工事について準備を進めているところですので、その点についてはご安心ください。

【委員】

通報フォームについては素晴らしい取り組みだと感じています。ぜひ、通報フォームの存在をどこで知ったかという分析をしていただくと、さらに認知度が上がると思います。電話で「どこどこで漏水している」と言われても、イメージに相違があるとたどり着けません。その点でこの取り組みは的を射ていると思います。

水道料金については、報道等で高いと認識されていると思いますが、耐震化の取り組みは進めるべきだと思います。どう見せるかによって変わってくると思うので、例えば市の他の施策では、児童遊戯施設が無料ですとか高校まで医療費無償化してますとか、市全体としてはお得感のあるものもしているというようなものも併せて発信を考えていく必要があると思います。

【事務局】

通報フォームの認知度向上は山形新聞に取り上げてもらったことが非常に大きいです。やはり、市の HP はわざわざ見に来なければ情報を得られませんが、広報紙や新聞記事は自然と市民の目に入るため、認知度向上に大きな効果があったと捉えています。

【委員】

まず、WEB アンケートで、情報をどこで得たかという問いについては、HP、市報、上下水道部だよりが上位に来ているので、この上下水道部だよりをもっと目を引くようなレイアウトやデザインにしていくといいと思います。

また、音楽グループの方が「山形市の水を飲んで感動した」とあるが、私が関西に住んでいた時は、関西の水は本当に美味しくなく、そのままでは飲めず、浄水器を通してもおいしくないと感じていました。ところが、山形市の水は本当に美味しいです。例えば静岡の水道ではお茶が出る小学校があるとか、愛媛だとみかんジュースが出るとかがある。山形市はなにかが出るということはないですが、非常に美味しい水が飲めるのは素晴らしいことです。

私の組織でもぜひ出前講座をしてほしいです。農家や女性は水を使う機会も多く、そういった方にも上下水道部のいろんな取り組みを発信してほしいです。

【委員】

県営村山広域水道を利用して施設の共同化を行うことや、漏水調査の広域化などのお話があったが、最低賃金も 1,000 円を超え、燃料・資材・その他も高騰しているという状況の中で、今後水道料金を上げるにしても、その上げ幅を少なくする努力をなさっているように感じました。

山形新聞の記事で長井市、白鷹町、飯豊町が広域化をするということであった。庄内でも事業統合の広域化が進んでいます。山形市でも一部地域と山辺町、中山町を給水区域としている企業団があります。これから広域化が進んでいく中で、経営体の統合も検討するとなると、弱者を強者が救済する形になると、料金水準やサービスをどちらに合わせるのか等々の問題も出てきます。

まだ、そのような具体的な検討はしていないと思うが、何か今検討していることはあるでしょうか。

【事務局】

今後の経営体の統合ということですが、庄内の企業団を立ち上げての事業統合、長井市、白鷹町、飯豊町もおそらく企業団をつくると思われますが、最終的には料金統一が必要になってきます。

また、耐震化率の違いをどう埋めるかという問題もあります。なかなか難しい問題です。先ほど説明した連携中枢都市圏の検討では、事業統合ではなく、施設の共同利用や共同発注などの事務レベルでの広域化をまず検討していこうという段階です。

【委員】

断水がなく、おいしい水を供給していただいております。今年海外を何か国かみてきたが、世界の中では水をちゃんと飲める国は9か国しかないそうです。昨日まで行っていたアジアの国では、友人は前回水を飲んでお腹を壊してしまい、今回は水も氷も絶対飲まない対応をしていました。

山形市は法定よりも多く水質検査を行っていて、安全性・おいしさともに素晴らしいと感じています。料金についても、おいしさが素晴らしいことをもっとPRしてほしいです。今日は下水道も頑張っていることが分かりました。紙をそのまま流せない国もありますので。

アジアでもヨーロッパでも上水道、下水道がすごく不便な国があります。山形市に住んでいて、おいしい水が飲めて、汚水を普通に流せるのは幸せだと感じています。

通報フォームは、若い方はスマホやタッチパネルが得意なので、非常にいいと思います。年配の方は紙等の非デジタルの対応が必要に思います。

【事務局】

貴重なご意見ありがとうございます。

【委員】

資料に欲しい情報がきちんと載っていて素晴らしいし、安心安全な水をありがとうございます。

PFASの問題について、6年も早く独自対応しているのはとても素晴らしい。PFASは分解が非常に難しいと聞きましたが、コンポストに高濃度のPFASが検出されればどのような対応になるのでしょうか。

【事務局】

汚泥から作るコンポストについては基準がないのが現状ですが、農林水産省から参考値として示されているものよりは、はるかに低い値になっています。今の市民の皆さまの下水道の使い方が変わらなければ検出はされないと思いますが、仮に高濃度のPFASが検出された場合には国に指導を仰ぎながら、販売中止などの対応を取っていくことになると思います。

【委員】

具体的な数値はどうなっているのでしょうか。

【事務局】

上水道については HP に掲載しています。

【事務局】

コンポストについては令和 7 年 1 1 月に検査しており、PFOS が 4 マイクログラム/キログラム、PFOA が 2 マイクログラム/キログラムです。基準はないのですが、農林水産省の参考値は 2 5 0 マイクログラム/キログラムなので、大きく下回っております。

【委員】

保育園で出前講座をしてもらい、子供たちの節水意識が高まり、水を出しっぱなしにしないようになったし、家で水をストックするようになった家庭もありました。

広報として子供たちを通して親にも波及させていくということであったが、数十年後には実際に支払う立場になるので水への理解があるかないでは全く違うと思います。長い目で見てもいい取り組みだと思います。

普段、請求書を見ると高いなと思うが、今日のように水道料金ってなにに使われているものなんだろうということが分かると、高いものではないなという感覚に変わってきます。何度も情報を発信していく中で料金に対する納得感が醸成されていくと思います。

次回も出前講座をお願いしたいが、水がきれいなことが当たり前だと思っている子が多いので、例えば汚い水を簡易的なろ過装置できれいにする実験や、水漏れする管と水漏れない管に水を流してみるとかしていただけると仕事への理解にもつながると思います。

今回から小学校の放課後児童クラブでも出前講座をされるということで、今の保育園の子が将来小学校の放課後児童クラブでも、お話を聞けると前提知識がある分、さらに理解が深まると思います。

【事務局】

非常に効果的だと思うので、ぜひ実験装置等を検討したいです。

【委員】

山形市の水は美味しく安全だということは実感しています。テレビの報道でも山形市の水は高いと報道されますが、安心でおいしい水なんだから妥当なのかなと思っています。

出前講座では参加者に災害時に使用できる給水袋プレゼントとありますが、ぜひ全戸配布にしてほしいです。

【委員】

WEB アンケートでは書かれ方の表現は違うが、説明があれば料金改定は了承されるようなコメントがほとんどかなと思いました。水道料金の使い方については、取り組みを数字で見せてもらったり、見崎浄水場の取り組み、アセットマネジメントの話を聞くと効率的運営をされているというこ

とがわかりますがそういったことを周知していただきたい。

学校からの資料はかなり保護者も目を通すので、そういった広報ルートも考えてはどうかと考えます。

【座長】

水道料金の使い方については私も初めて聞いた部分もあったので、内容の濃いものであったと思います。市民の方は水道料金が高いという認識があるが、単純な比較が難しい側面があると思います。地理的要因、人口密度の要因等々前提条件が異なるので、ご理解いただくのが難しい。山形市の場合は水質検査に力を入れていること、PFAS の検査を先行していたというのも知られていないので、市民の方にPRした方がよいと思います。

やはり、安全だし、おいしい水を供給しているということを広く広報していけばいいと思いました。

【事務局】

今年度から部長が公民館で出前講座を通してPRもさせていただいています。ぜひ機会があれば委員の皆さまもご参加ください。

【座長】

ほかに委員の皆様からご意見等はございますでしょうか。

何もないようですので、意見交換を終了し、座長としての任を解かせていただきます。円滑な進行にご協力いただき、ありがとうございました。

5 閉 会